



# しまね脱炭素

## チャレンジ集

～学生編 4～





## はじめに

島根県は「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を長期的な目標に掲げています。温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる、環境に配慮した持続可能な地域づくりなど地域版SDGsの実現に向けた取り組みが進められています。そこで、次世代を担う県内の児童・生徒・学生が取り組む地域活動を掘り起

こし、島根県地球温暖化防止活動推進員を中心に取材し「脱炭素チャレンジ集」として取りまとめました。この事例集をきっかけに、地球を守る地域活動に興味・関心を持っていただき、地域における脱炭素取り組みの芽を後押しすることができれば幸いです。

---

## 脱炭素チャレンジ集へのエール

認定NPO法人 気候ネットワーク  
理事 兼 事務局長 田浦健朗

みなさまの脱炭素チャレンジの取り組みを拝見して、様々な創意工夫がされていて、地域の特色を活かしながら地域に必要な活動となっていることがわかり大変頼もしく思います。気候の危機はますます深刻化していて脱炭素社会の実現が急がれています。大きな社会システムの転換が必要な脱炭素地域の実

現は簡単ではないかもしれませんが、しかし、みなさまに多彩な脱炭素チャレンジの活動を積み重ねていただくことが希望となっています。2050年に振り返ってみると、みなさまの活動の一步一步が脱炭素の確かな足跡となっているでしょう。

気候ネットワークは、地球温暖化防止のために市民の立場から「提案×発信×行動」するNGO/NPOです。1998年の設立時から、地球温暖化防止のため、国際交渉への参加、調査研究・政策提言、キャンペーン、人材養成・ネットワークづくりなど、多岐にわたる活動をしてきました。

# 目次

- 2 はじめに
- 2 脱炭素チャレンジ集へのエール
- 4 **事例 01** たたらと SDGs  
雲南市立田井小学校
- 5 **事例 02** 地域に根ざした食と農に誇りを！  
雲南市立寺領小学校
- 6 **事例 03** 「フラワーパーク」作りで、地域の方に感謝を！  
美郷町立大和小学校
- 7 **事例 04** あゆをおいしくいただく会で育む  
「ひぬい大すきの力」  
邑南町立日貫小学校
- 8 **事例 05** 食は耕作にあり  
江津市立桜江小学校
- 9 **事例 06** 自分たちの切った木がどんな遊具になるだろう？  
津和野町立日原小学校
- 10 **事例 07** ふるさと学習は、西ノ島丸ごと「生きる力と誇り」の学び  
西ノ島町立西ノ島小学校
- 11 **事例 08** 県花で日本一の生産量をほこるボタンの学習  
松江市立義務教育学校 八束学園
- 12 **事例 09** 循環型社会をめざして、「ちょぼら」作戦の継続的な実践  
出雲市立浜山中学校
- 13 **事例 10** 地域にとっても島根中央高校は「宝」の高等学校  
島根県立島根中央高等学校
- 14 SDGs 解説
- 15 島根県地球温暖化防止活動推進員とは
- 15 記者紹介

事例

NO.01

# たたらとSDGs

雲南市立田井小学校

活動テーマ  
SDGsゴール



砂鉄集め

昨年の5、6年生が焼いた炭を使いました。1日目は、土に粘土と水を混ぜて釜土を作り、レンガで組んだ炉の内側に貼りつけます。2日目は、炭を燃やして炉を乾燥させ、適温になると20分おきに炭と砂鉄を投入し、最終的には木炭40kg、砂鉄16kgを投入しました。冷ました炉から3.5kgの砂鉄が採取できました。鉚の中から鉄と玉鋼を取り出し、これらを鍛錬した鋼材を利用して卒業記念に小刀を作ります。

奥出雲の伝統産業「たたら」は、先人から受け継がれた地域資源を大切に作る地産地消の産業です。子どもたちは、たたら操業に欠かせない、豊かな自然を守りながらその資源を循環させるこ

活動内容

5、6年生は、鉄の歴史村地域振興事業団の小林さんの指導で、雲南市和鋼生産たたら体験交流施設で2日間、鉄づくり体験を行いました。子どもたちが川で採取した砂鉄と、

とを学び、今後またたらの文化を守り継続していきたいと、未来に夢を繋げていました。



小だたら操業（鉄づくり体験）

✓check  
活動ポイント

子どもたちは、たたら学習活動から「たたら文化の贈り物」に気がつきました。吉田地域の先人たちは、たたら操業をとおして森林を守りながら活用し、また、地域の資源を循環させながら、持続可能な形で産業を営んでいました。その持続可能な産業は、現在の



炉づくり

SDGsにもつながることをしていたと知り感動しました。

今後、地域の人たちとの関わりを密に、吉田地域の良さを一層深めていくことに期待が持てます。(文責 柳樂(出雲市))

## 活動団体 DATA

活動団体名: 雲南市立田井小学校

住所: 島根県雲南市吉田町深野 90-1 (0854)75-0009  
URL: <https://shimane-school.net/unnan/tai-sho/>

活動団体名: 公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団 和鋼関係 小林憲生

住所: 島根県雲南市吉田町吉田 892 番地 1 (0854)74-0311  
URL: <http://www.tetsunorekishimura.or.jp/>

事例

No. 02

# 地域に根ざした食と農に誇りを!

## 雲南市立寺領小学校

活動テーマ  
SDGsゴール7 持続可能な  
エネルギー8 豊かになり  
持続可能な12 つぶらな  
消費13 気候変動に  
適応する活動  
内容

生きるため自ら作り食べる「産業教育」という加藤徹一郎先生の教えを基に「食と農」について学んでいます。5、6年生は、地域の方に指導を受けて米作りをしています。教室4個分くらいの借用田に苗を植え、田車を使って雑草の成長を抑え、除草します。農薬や除草剤を使用しない安心で安全な米作りです。秋に鎌で刈り取った稲は、はで干しをします。乾燥した稲を脱穀精米すると、白いふくよかなお米になりました。「つや姫」という品種です。

おにぎりにして食べた児童は、「米の粒が大きく、ふっくらとし、艶があって、甘みがあり、モチモチしていてとてもおいしかった。」と、目を輝かせて話していました。残りのお米は、ポン菓子や味噌に加工して家族や地域の方に食べてもらいます。



田車押し



稲刈り

1、2年生は、大豆を栽培し、豆腐作りや、5年生が作る味噌の材料にしています。児童の活動は、「産業教育」の精神を脈々と引き継ぎ、地域の人々と共に循環型農業を実践します。

 check  
活動ポイント

人の命を育む「食と農」の関わりを、各学年が年間計画の中に位置づけ、地域の人々の協力を得て活動しています。

農薬を使わずに栽培し、米を収穫したあと残ったもみ殻を燃料に焼き芋を作り、残ったくん炭を肥料にして、糞を次年度に稲を束ねる「より」に活用するなど焼却せず再利用し、SDGsを体験しています。



ポン菓子づくり

全校児童や地域の人々と収穫の喜びを共有することは、持続可能な社会づくりの地域の財産となると思います。(文責 渡部(出雲市))

### 活動団体 DATA

活動団体名: 雲南市立寺領小学校

住所: 島根県雲南市木次町寺領 612 番地 (0854)42-0529

URL: <https://shimane-school.net/unnan/jiryousho/>

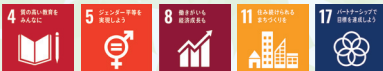
事例

NO.03

# 「フラワーパーク」作りで、地域の方に感謝を!

美郷町立大和小学校

活動テーマ  
SDGsゴール



活動  
内容

美郷町都賀行にある「神田スマイルフラワーパーク」は、休耕田を利用した花壇です。5、6年生は、ここで大きな地上絵を描く活動



花壇完成

をしています。地上絵のデザインは、6年間で得た感謝の気持ちなど思いを込めて、「出会い、ふれあい、語り合い、認め合い、助け合い、つながり合い」をテーマに考えたそうです。

都賀行隣保館職員や地域の方々が、地元で取り寄せた花苗の準備や花壇整備だけでなく、児童に植え方などを優しく教え子ども達を支えています。子ども達と地域の方々は、栗拾い、タケノコ堀、また昔の遊び体験や生活道具学習など、6年間の授業をとおして交

流を重ねています。大人と子どもが身近に関わり、地域の良さを実感できることから、児童も、地域の方もこの活動が継続して欲しいと笑顔で願っていました。



フラワーパーク作業

✓ check  
活動ポイント

コロナウィルス感染拡大前には、例年春秋の年2回開催されるなど、地域の大人と子どもたちがいっしょに作り上げる大切な活動となっています。花壇作りの準備や管理などを担う地元の皆さんは、子ども達との関わりをできる限り大切にしておられます。町を離れた



栗拾い

卒業生は、地域の人と関われる特別な日として「ふるさと」を感じるそうです。持続可能な地域づくりは、フラワーパーク作りをとおして花が咲いていくのだと心が温まりました。

(文責 石原(松江市))

## 活動団体 DATA

活動団体名: 美郷町立大和小学校

住所: 島根県美郷町都賀西 311-4 (0855)82-0009

URL: [https://www.town.misato.shimane.jp/school/daiwa\\_e/index.html](https://www.town.misato.shimane.jp/school/daiwa_e/index.html)

事例

NO. 04

# あゆをおいしくいただく会で育む「ひぬい大すきの力」

## 邑南町立日貫小学校

活動テーマ  
SDGsゴール活動  
内容

1、2年生の4人は、鮎の学習をとおして、日貫の自然の豊かさや地域の繋がりを学びました。「子ども議会」で他学年や保護者、学校評価委員と話し合い、活動テーマを「鮎」にしました。日貫の鮎の特徴を調べ、八戸川漁協の方から鮎の生態を教わり、学校前の川で鮎釣り名人と友釣りを体験し、命の尊さなど沢山のことを学びました。

地元の鮎を塩焼きにして「あゆをおいしくいただく会」を開催しました。子どもたちは、地域の方に教わりながら手作りの竹串を作り、炭火で焼いた鮎を保護者や地域の方々と一緒にいただきました。おいしくいただくことで、地域の自然の恵みが地産地消に繋がること、食をつうじて色んな人と触れ合えることを学びました。学びをまとめたレポート「鮎ずかん」は、子どもたちの



日貫川での鮎釣り体験

自主性が伝わるでき映えでした。活動を終え、子どもたちは、「自然いっぱいの日貫がすき」「もっと日貫のことが知りたくなった」と、新たな日貫の魅力を発見しました。



あゆをおいしくいただく会

 check  
活動ポイント

地域では、子どもたちの学びたいを応援する学社連携事業「日貫と生きる～魅力的なまちづくり～」として、命の学びや環境、まちづくり、地域資源の活用など、様々な過程で多角的にSDGsに取り組みられていました。秋の学習発表会で学びを劇にして伝え、大人たちから「こちらが勉強になった」と大きな反応を得たようです。



ひぬい子ども議会

ふるさと教育の一環で始まり、15年以上の間形を変え続くこの活動は、立派な伝統であり、大きな財産です。

(文責 山崎(浜田市))

### 活動団体 DATA

活動団体名: 邑南町立日貫ひぬい小学校

住所: 島根県邑智郡邑南町日貫 3306 番地 1 (0855) 97-0211

事例

NO.05

# 食は耕作にあり

江津市立桜江小学校

活動テーマ  
SDGsゴール



活動  
内容

5年生 21名は、水田1a(アール)で市山環境保全会さん指導の下、黒米を栽培しています。ぬかるむ水田での田植え、鎌を使った稲刈り、はぜで天日干し後の脱穀は慣れない作業の連続でしたが、今年は30kgの収穫がありました。

また、今田地区の1aの畑では大豆を栽培しました。種を直播きし、2度の土寄せ作業後に実った茎を収穫しました。栽培方法は、農薬・肥料不使用の自然栽培に取り組む反田さんから学んでいます。実った茎を自然乾燥した後は人海戦術です。さやをビニール袋に入れ、痛みに耐えて足で踏み、脱穀しました。収穫した大豆は、3学期に味噌にして、米と一緒に自校内の給食で使用します。また、お米は地域にも



田植えのようす



配っているそうです。

地域の生産者のみならず、江津市長も給食を試食され、稲の刈り取りこの取り組みに熱い思いを寄せておられます。

✓check  
活動ポイント

5年生の農業体験は、地球にやさしい古来の循環型農法(自家採種・藁は2年生が里芋作りに使用)であるとともに、自分たちが作ったものを自分たちで食す「自産自消」という究極のサステナブルです。水害を受け易い立地であるからこそ、気候変動などの地球環境について知り、地球に負荷をかけない農法を学ぶこのような活動を地域の人々とながら続けていくことは、これからも重要になってゆくと思います。



大豆を自然乾燥

(文責 大橋(浜田市))

## 活動団体 DATA

活動団体名: 江津市立桜江小学校

住所: 島根県江津市桜江町川戸 1280 (0855)92-8040

URL: <http://www.city.gotsu.lg.jp/site/elsakurae/>

活動団体名: 反田孝之 有限会社はんだ

住所: 島根県江津市桜江町小田 42-4

URL: <https://www.handa-shizensaibai.com/>



事例

NO. 06

# 自分たちの切った木がどんな遊具になるんだろう？

## 津和野町立日原小学校

活動テーマ  
SDGsゴール

真剣にノコをひく

間伐体験は、津和野町で地域おこし協力隊として小規模自伐型林業に携わる津和野ヤモリーズの指導の下で行いました。体験した後の感想では筋肉痛になったという児童も多く、林業の大変さを、身をもって実感したようでした。また木のいい香り、皮を剥いだ時のみずみずしい白い樹肌、明るくなった地面など五感で受け止めていました。

活動内容

6年生  
14人は森  
を守り活  
かす学習として、  
町内堤田地区の山  
林で間伐を体験し  
ました。

まず、役場農林課の職員や地球温暖化防止活動推進員から、山の役割や山を管理していく大切さについて話を聞きました。

児童たちが切った木は、近くの広場の遊具になります。それを聞いて、「自分たちが切った木で作った遊具で、後輩たちが遊んでくれると思うとワクワクする。」と語っていました。



明るくなった山林

 check  
活動ポイント

子どもたちが、大きな木を切る大変な作業を、グループ内で助け合いながら仲良く進めていたことがとても印象に残りました。ただ間伐をするだけでなく、それを遊具にして活用するという点が注目するところだと思います。この体験が脱炭素に向けた意識醸成の第一歩



みんなで森を守るう

になってくれることを願っています。森林が9割以上を占める津和野町は、ゼロカーボンシティを宣言しました。山を守り育て、活用することが地域の未来につながっていると確信しています。

(文責 上瀬口(津和野))

### 活動団体 DATA

活動団体名: 津和野町立日原小学校

住所: 鳥根県鹿足郡津和野町日原 235 番地 (0856)74-0032

事例

NO. 07

# ふるさと学習は、西ノ島丸ごと「生きる力と誇り」の学び

西ノ島町立西ノ島小学校

活動テーマ  
SDGsゴール



活動  
内容

小学6年間で、島のさまざまな暮らしを学んでいます。1、2年生は植物や生き物を通してふるさとを楽しみ、3年生は伝統行事のシャラ船など地域文化を体験します。4年生は二ホンミツバチやトコロテン、しいたけ菌打ちなどの西ノ島の自然を味わいます。5年生で養殖漁業、牛と触れ合う畜産やイカ・アジさばきなどの産業を体験し、6年生は戦争遺跡である日露戦争で戦死したロシア兵の墓とおして平和を学びました。

印象に残ったのは、4年生で学んだ在来のミツバチが作るハチミツです。児童は「百花蜜がすごく美味しかったのは、この西ノ



ハチミツ学習

島に珍しい多種多様な花々が咲いていることと、二ホンミツバチが住める環境があること。自然豊かな地域を守られているから。」と語ってくれました。魚干物づくりも牛肉も同じで「自然豊かなこの西ノ島だから。」と、ふるさとを誇る気持ちと、地域の自然や地球環境を守る思いが伝わりました。



✓check  
活動ポイント

子どもたちの学習は、地域の方々の全面協力で計画されており、学習内容が全て持続可能な地域づくりにつながるものです。「材料の稲わら不足で、送り盆のシャラ船作りがどうなるか」と呟いた姿に、豊かで有限な自然資源を、どうやって持続可能に活用していくか考えさせられました。島での生活はSDGsそのもので、全てがつながり、回っていることを実感しました。何があっても動じないような、子どもたちのまなざしが眩しかったです。(文責 石原(松江市))



畜産の学習

## 活動団体 DATA

活動団体名: 西ノ島町立西ノ島小学校

住所: 島根県隠岐郡西ノ島町美田 3515 (08514)6-0404

事例

NO. 08

# 県花で日本一の生産量をほこるボタンの学習

## 松江市立義務教育学校 八束学園

 活動テーマ  
SDGsゴール

 活動  
内容

八束町は、江戸時代からボタンの栽培が盛んです。生産量が日本一のボタンは近年世界にも輸出されています。子ども達は、学校近くのふれあいの農園に植えられたボタンを、八束学園教育推進会議メンバーの協力を得て管理しています。3年生(小3)と8年生(中2)の交流学习として、10月にボタンを剪定しました。3年生が花切バサミを持ち、8年生が「この枝はいらないよ」「この芽を残して」と指導し、芽摘みや枝ぶりを整える間引き体験しました。この活動をとおして、島の



真剣に剪定



大切に植え足す

豊かさを知り、地域への誇りを持って貰うのも狙いです。以前は、8年生の修学旅行でボタン苗を販売しました。本学園では、大根島独自の自然環境などを生

かき、地域の自然や産業について丸ごと学んでいます。

 check  
活動ポイント


ふれあい農園の表示

県内初の小中一貫校となり、現在は義務教育学校八束学園として運営されています。噴火によってできた大根島は、中海に囲まれ自然豊かで、八束ならではのエコ学習の宝庫です。自然と調和しながら、持続可能な独自の産業を守り育てることを学ぶことができる、よいフィールドであり、今後は脱炭素な地域づくりにも繋がる学習に発展することを期待します。(文責 石原(松江市))

### 活動団体 DATA

活動団体名: 松江市立義務教育学校八束学園  
八束学園教育推進会議

住所: 島根県松江市八束町波入 1975 (0852) 76-2442  
URL: <http://www.city.matsue.ed.jp/yatuka-ej/>

事例

NO. 09

# 循環型社会をめざして、「ちょぼら」作戦の継続的な実践

出雲市立浜山中学校

活動テーマ  
SDGsゴール



活動内容

緑豊かな田園地帯に位置する浜山中学校は、生徒会を中心に「ちょぼら」活動を行っています。生徒4百数十名の全員に呼びかけ、自ら進んで参加する「ちょっとしたボランティア」活動です。一人だけの実践では少しの効果しか期待できませんが、多くの生徒で実施すれば大きな効果が生まれます。これが浜山中学校の「ちょぼら」活動で、生徒会の呼びかけで実施日時の都合がつく希望する生徒が参加して、学校の敷地内の清掃や花壇の整備・植栽などを行います。

また、「ちょぼら」を含めた生徒会活動をより活発なものにするために「はまふえす」のイベントを行って、脱炭素活動(SDGs)にも取り組んでいます。

他に、「もちょぼら(もっとちょっとしたボランティア)」という学校の敷地以外の清掃等を行う活動も



校内で「ちょぼら」活動

あります。しかし新型コロナ禍の今年は実施できず、生徒会メンバーは残念がっていました。自分達ができなかったことを、後輩に託したいと語ってくれました。



助け合って呼びかけ

✓ check  
活動ポイント

生徒会が中心となって自主的に全校生徒に呼びかけて、身近なちょっとした環境活動(脱炭素活動)を実施している事を、生徒会役員十数名が参加して、活動内容を目を光らせながら発表する姿に、勇気と感動を覚えました。生徒達の自発的な環境活動は、浜中の伝統として末長く受け継がれ、学校・家庭や地域の活動に波及し、大きな輪になり、持続可能な循環型社会の実現に繋がってゆくに違いないと、大きな拍手を送ります。(文責 高橋(出雲市))



楽しく工夫

## 活動団体 DATA

活動団体名: 出雲市立浜山中学校

住所: 島根県出雲市松寄下町 1674 (0853)23-2717

URL: <https://www.izumo.ed.jp/hamayama-chu/>

事例

No. 10

# 地域にとっても島根中央高校は「宝」の高等学校

## 島根県立島根中央高等学校

活動テーマ  
SDGsゴール活動  
内容

島根中央高校は、県の中央部の川本町にあります。少子高齢化が進むものの、自然豊かな地域です。生徒たちは、近隣の事業所での勤労体験や、農業・漁業・畜産業・林業など地域の産業体験、自治会の様子の聞き取り調査など、地域の現状や課題について学びました。「まちごとキャンパス学習」などの探究学習をきっかけに、地域が抱える様々な課題を解決する方法を考え、住民の皆さんへ働きかけています。



元町自治会へプレゼン

元町自治会の未来を考えた生徒は、その成果を「若者が訪れる町へ!」と題しプレゼンしました。住民が互いに高齢者の生活を支援する、三島自治会の「じょしかい助支会」活動に賛同した生徒たちは、自分たちで助

支会ボーイズを結成し、清掃活動を行いました。

また、平成24年に県内初のユネスコスクールの認定を受け、毎年石見銀山の保全に取組んでいます。



助支会ボーイズの活動

 check  
活動ポイント


三島自治会で聞き取り

助支会ボーイズの生徒は、助支会を利用してもらうPRとして、ポスター掲出、回覧板、Line、地区放送などの解決案を、若者目線で考えました。

高齢化率45%の地域に暮らす住民と密接に関わり合い、地域の営みについて語り合い、持続可能な地域づくりを肌で学んでいます。未来を生きる若者に、今、求められている力、自分で考える力がそこにありました。(文責 石原(松江市))

### 活動団体 DATA

活動団体名: 島根県立島根中央高等学校

住所: 島根県邑智郡川本町大字川本 222 (0855)72-0355

URL: <https://www.shimane-chuo.ed.jp>

# SDGs 解説



あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する



強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



国内および国家間の格差を是正する



都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



持続可能な消費と生産のパターンを確保する



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

## SDGs とは？

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を 17 の目標と 169 のターゲットに整理したもの（2015 年 9 月に国連で採択）。2030 年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGs を実現するための役割を担っている。

14 “持続可能な開発目標”。国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所。  
<https://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html>。（参照 2019-09-10）

## 島根県地球温暖化防止活動推進員 とは

島根県地球温暖化防止活動推進員（以下、推進員という。）は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」（以下、温対法という。）第37条の規定に基づき、島根県知事が委嘱をした方です。推進員は、自ら率先して日常生活における地球温暖化防止対策を実践するとともに、地域における温暖化対策を推進するリーダーとして、県、市町村、島根県地球温暖化防止活動推進センター（以下「センター」という。）などと連携し、地球温暖化防止の重要性を県民に伝え、地球温暖化防止につながるきめ細やかな対策の普及・啓発につとめることで、県民の中に地球温暖化防止の意識や取り組みを浸透させる役割を担います。

（地球温暖化防止活動推進員の活動例）

- （1）地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性について県民の理解を深めること。
- （2）県民に対し、その求めに応じ日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について調査を行い、当該調査に基づく指導及び助言をすること。
- （3）地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う県民に対し、当該活動に関する情報の提供その他の協力をすること。
- （4）温室効果ガスの排出の抑制等のために国又は関係機関が行う施策に必要な協力をすること。



## 記者紹介

「しまね脱炭素チャレンジ集  
～学生編4～」作成のため  
ご協力いただきありがとう  
ございました 五十音順／敬称略

石原 孝子

大橋美津子

上 潟 口 琴 代

高 橋 充 男

柳 樂 利 子

山 崎 真 生

渡 辺 紀 美 枝

渡 部 學

## しまね脱炭素チャレンジ集

～学生編 4～

発行日 令和5年1月30日

発行先 しまねエコライフサポートセンター  
島根県地球温暖化防止活動推進センター  
公益財団法人しまね自然と環境財団松江事務所  
〒690-0887 島根県松江市殿町 8-3  
島根県市町村振興センター(タウンプラザ<sup>®</sup>しまね)2階  
TEL 0852-67-3262 <https://nature-sanbe.jp/eco/>

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金  
(地域における地球温暖化防止活動促進事業)

